

2018年第2回日本地球化学会理事会議案

日時：2018年9月10日（月）13:00-15:10

場所：琉球大学 理学部複合棟 321号室

出席予定者：益田 晴恵、原田 尚美、塚本 尚義、板井 啓明、伊藤 正一、上野 雄一郎、太田 充恒、小畑 元、蒲生 俊敬（監事）、川口 慎介、癸 生川 陽子、下田 玄、角皆 潤、中川 書子、服部 祥平、丸岡 照幸、南 雅代、三村 耕一、横山 哲也

欠席予定者：小木曾 哲、橘 省吾、高橋 嘉夫、福士 圭介、高野 淑識

オブザーバ：鍵 裕之（GJ編集長）

1. 審議事項

1.1. 2018年度第一回理事会議事録案の確認（資料1）

前回議事録が閲覧され、修正点の指摘はなかった。

1.2. 総会式次第について（資料2, 3, 4）

板井庶務幹事より、資料2, 3, 4が配布され、総会の議案および進行の詳細案について説明があった。軽微な修正を経て、提案は承認された。

1.3. 今後のGJ運営について（資料5）

鍵 GJ 編集長より、Terapub 社との次年度契約について、交渉の状況が説明された。議論の中で、Open Access については、学会が経済面だけにとらわれない長期的な展望・戦略を持って、出版社を選択・交渉することが必要との意見が出された。また、ページチャージ徴収についても会員への十分な説明期間が必要との意見が出された。これらを考慮し、今年度は従来通りの契約案を提示し、翌一年の間に持続的運営に最適な案を構築する方針が GJ 編集長より提案され、承認された。また本件に関し、とくに雑誌の運営面に関するタスクフォースを立ち上げる方針が会長より示された。加えて、GJ の将来計画は国際戦略とも関係するため、横山国際幹事が国際タスクフォースとの連携を担う方針が示された。

1.4. 次年度の選挙日程と選挙管理委員の選出について（資料6）

橘総務幹事が作成した次年度の選挙に関する案（資料6）について、板井庶務

幹事より説明があった。いくつかの審議事項が示され、(1) 次回選挙公示に監事二名を明記すること、(2) 選挙スケジュール案の内容 (4 月選挙公示、5 月下旬投票開始、6 月下旬開票、6 月末理事会報告)、(3) 選挙管理委員の提案 (橘委員長、高橋委員)、が承認された。また、理事の再任について、法人化以前は「理事の連続任期は二期まで (会長、副会長、雑誌編集長は除く) (選挙規定)」に従っていたが、新法人ではこの条件を満たす理事はいないことが確認された。しかし、本来この制約は学会運営体制の固定化を避けることが目的であるため、今年度の推薦・立候補においては旧ルールをふまえて行動いただきたいとの指針が示され、理事間での同意を得た。

1.5 2018 年度事業計画および予算案について (資料 7)

板井庶務幹事と南会計幹事から、資料 7 にもとづき 2018 年度の事業計画と予算案に関する説明があり、内容が承認された。

1.6. その他

2. 報告事項等

2.1. 庶務

2.2. 総務

2.3. 国際 (資料 8)

横山国際幹事より、年会前日に締結される台湾地質学会との MOU 調印式と、今後の合同セッション開催に関する議論の状況などについて説明があった。

2.3. GJ (資料 9)

2.4. 和文誌「地球化学」(資料 10)

2.5. 企画 (資料 11)

2.6. 広報 (資料 12)

2.7. 会計

2.8. 会員 (資料 13)

以上の議事を終え、15 時 10 分に閉会した。